

支援機関との連携による新プロジェクト始動の支援

会社概要

飯山仏壇事業協同組合（飯山市）

飯山仏壇は伝統的工芸品として経済産業大臣の指定を受け、平成 19（2007）年に地域団体商標も取得しています。組合では、その品質を守るために使用材料・製造方法等の詳細を取り決め、長年培われた伝統の技を継承すべく、広報広告活動、仏壇体験フェスタ等のイベント開催、伝統技術・技法の講習会等の企画・運営を行っています。

きっかけ

コロナ禍において、医療従事者への感謝と命の尊さを訴え、令和 4（2022）年に故人を偲び、命の尊さを思い返すための新たなプロジェクトとして、「命の器」を発表しました。

故人の遺品を収める器を提供するもので、飯山仏壇の技術を駆使した新たな商品とコンセプトの提案です。

このプロジェクトと新商品による地域活性化を成功させるためには、ブランド化、市場価値の向上が不可欠と考えられ、その取り組みを担ったのが未来社会推進機構でした。「命の器」のネーミングを独占的に使用すべく、商標権の取得を目指すこととなりました。

支援内容・ポイント

未来社会推進機構との連携をきっかけとして、商標としての「命の器」の使用範囲や使用方法をご検討いただきました。その結果、使用範囲は葬祭用具とその販売に限定できるものの、単なる商品名でなくコンセプトの提案も考えると、表示方法の自由度が重要となり標準文字での権利取得を目指しました。

成果

商標権取得後のプロジェクト推進と新商品の売込みに際しては、飯山仏壇で培われた伝統技術が礎となっていることを示すことで、ブランド化、市場価値の向上が図られます。そのため、INPITで提供する地域団体商標カードをご利用いただくことを提案し、飯山仏壇自体の知名度向上と「命の器」の市場価値向上の一石二鳥が図られました。

更に「命の器」の商品形態が確定したところで、意匠権の取得をご検討いただくこととしており、「地域団体商標×個別商標×意匠」で更なるブランド化と市場価値の向上を提案しています。



出展：飯山仏壇事業協同組合「思い出の門」

<https://www.omoidenomon.com/>